

日本測量者連盟会員の皆様

日頃より、日本測量者連盟の活動に、ご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。
FIG よりメッセージが届きましたので会員の皆様に展開いたします。

日本測量者連盟

FIG ニュースレター 2025 年 7 月号 FIG からのお知らせ 「戦略的取り組みと協力の成果」
ご注意: 原文 (英文) をご覧になりたい方は、[ブラウザでニュースレターにアクセス](#)してください。

国際測量者連盟 FIG

「戦略的取り組みと協力の成果」は、FIG が常から達成しようとしているものです。これは、6 月にアテネで開催された FIG、UN-ECE、世界銀行による特別会議「自己構築都市のより良い再構築」のテーマの中心でした。また、FIG がすでにカウントダウンを開始している 2026 年 5 月 24 日から 29 日にかけて開催される FIG 大会 2026 の中核にあるのも、このテーマです。ダイアン・デュマシー FIG 会長によるビデオメッセージをお楽しみください。論文募集が開始されました。今こそ、技術プログラムへの参加枠を確保するチャンスです。論文要旨を提出して、大会であなたの話題を語ってください。スポンサーシップや展示会を通じて、自分の存在をアピールする選択肢も検討してください。

FIG ヤング・サーベイヤーズ・アフリカ会議への参加助成金の申請期限はあと 1 日です (訳注: 終了しています)。FIG を通じて無料で提供されているデジタル技術に関する書籍の詳細や、FIG 会員とそのパートナーによる興味深い取り組みについてもご覧ください。このニュースレターで紹介する戦略的取り組みや協力の成果が、皆様にとって良いインスピレーションとなることを願っています。

FIG 大会 2026 - 技術プログラムへの参加枠を確保しましょう

第 28 回 FIG 大会 「私たちが望む未来 - SDGs とその先へ」

2026 年 5 月 24 日～29 日、南アフリカ、ケープタウン

論文募集

2026 年に南アフリカのケープタウンで開催される、測量および地理空間分野の専門家による最大かつ最も権威のある会議にご招待いたします。FIG 大会は 4 年ごとに開催される主要なイベントであり、新しい FIG 会長および 2 人の副会長の選挙も行われます。さらに、

5 月 25 日から 28 日までの 4 日間にわたる会議では、大規模な技術プログラムも実施されます。

プログラムへの参加枠を確保してください。

大会の全体テーマは「私たちが望む未来 - SDGs とその先へ」です。

2026 年の FIG 大会は、専門家である皆様に次のような機会を提供します。

- 80~90 カ国からの参加により、グローバルに学び、情報を共有する
- 幅広い分野の専門家によるセッションや発表により、専門分野、文化、世代、セクター、職業の枠を超えたネットワークを構築する
- キャリア、組織、コミュニティにインパクトを与える
- 集中して、共同作業に専念できる、邪魔の入らない現場での時間を楽しむ

SDGs はすべてのセッションの中心的テーマとなり、測量技術者がこれらの目標とその先にわたる解決策をどのように探求し、実現していくかを明らかにします。測量技術者の声は、今後数年内に策定される 2030 年以降の次期地球規模の開発アジェンダに反映される必要があります。

[さらに詳しい情報を読んで論文要旨を投稿しましょう。](#)

[論文募集を読む](#) | [論文募集の PDF 版](#)

[2026 年サーベイ・レビュー隔年賞](#) – 優れた査読論文を執筆したヤング・サーベイヤーに授与されます。

ダイアン・デュマシー FIG 会長が、大会に参加し、論文要旨を提出すべき理由について語っています。

⇒ <https://youtu.be/5cbkb3alfyk>

貴社/貴団体、製品、サービスを特別な聴衆にアピールしましょう。

大会期間中、貴社や貴団体をアピールするためのさまざまなスポンサーシップや展示の機会が用意されています。

FIG 会議の特質および特徴のひとつは、土地測量士、地理空間専門家、鑑定士、積算士、水路測量士など、最も広い意味での測量のあらゆる分野の専門家が参加していることです。

FIG は、これらのさまざまな測量の職業や専門家を一堂に集め、相互の分野における協力と理解を深めています。

参加者は通常、以下の通りです：

- 1/3 公共/政府機関
- 1/3 民間専門家
- 1/3 学術機関

スポンサーシップと出展の機会について詳しくはこちら：

- [スポンサーシップ](#)
- [展示](#)

大会に関する詳細情報や最新ニュースは、大会ウェブサイトをご覧ください。

www.fig.net/fig2026/

FIG からのお知らせ

戦略的取組みと協力の成果

UNECE、FIG、世界銀行による合同会議「ヨーロッパの自己構築都市のより良い再構築」が、2025 年 6 月 18 日から 22 日までギリシャのアテネで開催されました。この会議は、不法建築の合法化、地理空間データエコシステムの改善、革新的な土地管理ツールの開発に関する国際的なベストプラクティスを推進することを主な目的として開催されました。

[続きを読む](#)

FIG 総会 2025 議事録および報告書

2025 年 4 月 6 日と 10 日に、FIG 総会 2025 が FIG 作業週間 2025 の一環として開催され、分科会次期委員長選挙、定款の変更、および FIG 作業週間 2029 の開催地と主催者の選挙が行われました。

議事録はすべての会員にメールで送付されました。

[総会議事録](#)

[報告書](#)を読む

FIG 作業週間 2025 報告書：ブリスベンとオーストラリアの G'day へ

1400 人の国内外の参加者が、美しい都市ブリスベンに集まり、さまざまな活動、技術プログラム、ツアー、ネットワーキングの機会が満載の FIG 作業週間 2025 が開催されました。

- [報告書を読む](#)
 - [集録・技術プログラム](#)
 - 会議ウェブサイト：www.fig.net/fig2025
 - [FIG 声明 2025 年 6 月](#)：GCA と FIG 作業週間について
-

FIG 財団からのお知らせ

[FIG ヤング・サーベイヤーズ第 4 回アフリカ地域会議 財団助成金](#)

FIG ヤング・サーベイヤーズ第 4 回アフリカ地域会議と第 10 回 ISK アフリカ地域会議を支援するため、4 名分のヤング・サーベイヤーズ助成金を後援し、授与します。申請の締切は 2025 年 7 月 31 日です（訳注：終了しました）。

新規出版物とニュースレター

FIG 第 10 分科会（建設経済と管理）の書籍刊行

マレーシアの UCSI 大学所属のナジラ・Hj・ザイノルディンとクー・スイ・ライが、BIM、AI、IoT、スマートインフラなどデジタル技術が建設環境をどのように持続可能な未来へと変革しているかを考察した啓発的な書籍を執筆しました。

実践的な応用と実世界のケーススタディに焦点を当て、特にマレーシアの事例を交えながら、デジタル化が効率性を向上させ、環境への影響を軽減し、レジリエントな都市開発を支援する方法を明らかにしています。測量、建築、土木、都市計画の分野の専門家を対象に、2050 年を見据えた先見的なビジョンを提供し、イノベーションの採用を促す呼びかけをしています。「明日への眼差し The Eyes for Tomorrow」は、持続可能な建設と建設環境におけるデジタル変革の未来を形作る人々にとって、まさに適切な資料です。著者は FIG を通じて本書をすべての人々に無償で提供しており、多くの方々がこの恩恵を受けることを私たちは願っています。

[書籍をダウンロード \(PDF\)](#) (1MB)

[FIG 年次報告書 2024](#)

この年次報告書では、2024 年に実施した FIG の活動の一部について、概要をご紹介します。[詳しくはこちら](#)

[出版物 83：行動への呼びかけ：気候変動に対応した土地統治と災害への強靱性。土地の権利の保護](#)

本書は、ネパールで開催された FIG 地域会議 2024 の成果です。「行動への呼びかけ」の全文と、セッションとディスカッションの結果をお読みください。[続きはこちら](#)

[出版物 84：土地管理ドメイン・モデル：その概要と教室における LADM](#)

FIG 出版物 No.84 の概説版は LADM の手引書であり、LADM の概要を説明しています。この出版物は、なぜ LADM が必要なのか、どのように設計されているのか、LADM とは何なのか、そしてどのような利点があるのか、といった LADM について詳しく知りたいすべての人を対象としています。この概説書には、研修や高等教育に焦点を当てた「教室における LADM」と題された増補版があります。

[続きはこちら](#)

[出版物を PDF で読む](#)

増補版では、土地管理ドメイン・モデル (LADM) を実例を通して紹介しています。まず、LADM の中核となる概念の概要を説明し、次に、LADM を使用して、さまざまな人と土地の関係に関するデータをどのように整理できるかを解説しています。各事例は、土地管理システムで遭遇しうるシナリオを表しています。各事例で使用されているシナリオは、ワッターリバーという仮想の町とその周辺の農村地域の土地管理システムから導き出されています。特定のシナリオを表すそれぞれのケースは、概念的に、またデータが具体的に保存されてい

るデータベースの簡略化された表現を使って提示されています。デモ用データセット、付随する GIS プロジェクト、再利用可能なスライドはオンラインで入手可能です。詳しくは本書をご覧ください。

[続きを読む](#)

[PDF で読む](#) (20 MB)

会員およびパートナーからのニュース

ベニン大学（ナイジェリア）

ナイジェリアのベニン大学測量・地理情報学科は、「Plant a Seed Initiative（種を蒔くイニシアチブ）」という新しい奨学金制度を立ち上げ、学生支援に向けて重要な一歩を踏み出しました。このイニシアチブは、Wake and See Executives が主導する同学科の総会で、学生中心のプログラムへの強いコミットメントを表明して、正式に発表されました。

同学科の学科長である Tunde Akinyemi 氏は、「Plant a Seed Initiative は、コース登録料など、小規模ながらも重要な学費の一部を賄う奨学金を提供することで、学生たちに経済的な支援を行うことを目的としています」と述べています。また、このイニシアチブの目標は、学生たち、特に日々の学費に苦勞している学生たちの経済的負担を軽減することであると付け加えています。

4 月 14 日に行われた設立イベントは、同学科の主要関係者たちからの多額の寄付も受け、熱狂的な歓迎を受けました。Wake and See Executives が先陣を切り、最初の寄付を行い、このイニシアチブの基金に正に最初の「種」を蒔きました。以来、このプログラムは、学生の福祉を促進し、コミュニティによる支援の意識を育む、時宜を得た影響力のある取り組みとして、広く賞賛されています。

開発には測量・地理情報学が重要ですが、当地域は次のような大きな課題に直面しています。

- 現代的な機器や技術へのアクセスの欠如
- 限られた資源とインフラ
- 頭脳流出と人材定着の問題

これらの課題は、測量の効果的な研究と実践を妨げるものであり、私たちが協力して対処することが不可欠です。

他者との協力も期待されます。

UN-Habitat - 都市と農村との連携に関する実践コミュニティ

2025 年 6 月 25 日、レジリエントな食料システムのための都市と農村との連携の促進に関する実践コミュニティのセッションが開催されました。

[セッションからの重要なメッセージはこちら](#)

分科会及びネットワーク会合

第 7 分科会 年次総会および FIG 合同土地管理会議

2025 年 11 月 3 日～5 日、ブラジルのフロリアノポリスで開催

[論文要旨の投稿および詳細情報](#)

[英語版チラシ](#)

FIG 第 8 分科会 年次総会「土地と空間統治における責任ある知識移転とイノベーション」は、第 6 回ルーマニア測量週間中（2025 年 10 月 21 日～25 日）に開催されます。同じく、第 2 分科会は教育に関するラウンドテーブルを主催します。

[詳しくはこちら](#)

ヤング・サーベイヤーズ会議

2025 年 10 月 17 日～18 日：アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス

第 2 回 FIG ヤング・サーベイヤー・アメリカ地域会議 2025：ダイナミックな業界を支える明日の測量者のスキルを育成する。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 27 日～28 日、ケニア、モンバサ

第 4 回 FIG ヤング・サーベイヤーズ・アフリカ地域会議（4YSAM）で、アフリカ全土から来る若い地理空間分野のリーダーたちと合流しましょう。

テーマ：牽引せよ。革新せよ。変革せよ。

登録料：150 ドル

ボーナス：100 ドル追加するだけで、第 10 回 ISK ARC/CASTLE 会議にも参加できます。

[詳しくはこちら](#)

賞と表彰

[以下に掲げる賞と表彰を確認してください。](#)

サラ・セイシー賞 2025、EAASI 優秀論文賞およびアベル賞。

今月の記事

2025 年 7 月の今月の記事は、FIG 作業週間 2025 の基調講演者であるリンダ・フォスター氏（米国、Esri）の「[GIS と地理空間エコシステム：あなたが望む世界を創生する](#)」です。このプレゼンテーションでは、地理空間専門家が世界の直面する最も深刻な課題を変革し、彼らが望む世界を創生するための機会を、加速する技術革新が提供していることを解説しています。[記事を読む](#)

今後のイベント

2025 年 8 月 21 日～22 日：パプアニューギニア、モロベ州、イースト・タラカ、レイ
GeoPNG 大会 2025：パプアニューギニア工科大学（PNG UoT）タラカキャンパス、ローズ・ケケド講堂ホワイエで、パプアニューギニア初の全国地理空間大会が開催されます。大会組織委員会は、パプアニューギニア国内外のさまざまな分野や組織における地理空間技術の応用に関する知識の交換、学習、共有、発表の機会となるこのエキサイティングなイベントに、皆様を心から歓迎いたします。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 8 月 22 日～24 日、中国・北京

「第 9 回動的・多次元 GIS 国際ワークショップ（9th DMGIS）」が、ISPRS 技術委員会 IV（空間情報科学）が組織委員会となり、北京土木・建築大学の主催で開催。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 9 月 2 日～5 日：アビジャン、コートジボアール

第 10 回フランス語圏測量研修大学。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 2 日～3 日、マコヤ、トリニダード・トバゴ - 現地開催とオンライン

「不動産管理の変革：強靱なカリブ海地域のための測量の動向と課題」をテーマとした地域測量会議およびカクテルレセプション。トリニダード・トバゴ測量協会（ISTT）が主催、FIG が支援。

ウェブサイト：www.instituteofsurveyors.com

2025 年 10 月 7-9 日、ドイツ、フランクフルト

ドイツ DVW 主催の Intergeo 2025。

ウェブサイト：<https://www.intergeo.de/en/welcome-to-intergeo>

2025 年 10 月 15-17 日、チェコ共和国、ブルノ

第 9 回応用測量国際会議（INGEO 2025）、後援：FIG 第 6 分科会（応用測量）ウェブサイト：<https://www.ingeoconference.com/>

2025 年 10 月 17～18 日、米国ミネソタ州ミネアポリス

FIG ヤング・サーベイヤーズ第 2 回南北アメリカ地域会議 2025。

ダイナミックな業界のために、明日の測量者の能力を高める。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 21 日～25 日：ティミショアラ、ルーマニア

第 6 回ルーマニア測量週間（RSW）のテーマは「農業と建設環境の持続可能な開発のための地理空間技術」をテーマに、ルーマニア測量者連合が主催し、ティミショアラ工科大学土木工学部（FCPUT）とティミショアラ生命科学大学「ミハイ 1 世国王」農業学部（ULST）と共同で開催され、FIG 第 2 及び第 8 分科会との協力のもと開催されます。

RSW 期間中、FIG 第 8 分科会年次総会「土地および空間統治における責任ある知識の伝達とイノベーション」が開催されます。

FIG 第 2 分科会は、教育に関するテーマの円卓会議を主催します。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 27 日～28 日、ケニア、モンバサ

第 4 回 FIG ヤング・サーベイヤーズ・アフリカ地域会議 (4YSAM) でアフリカ全土から来る若い地理空間分野のリーダーたちと合流しましょう。

テーマ：牽引せよ。革新せよ。変革せよ。

登録料：150 ドル

ボーナス：100 ドル追加するだけで、第 10 回 ISK ARC/CASTLE 会議にも参加できます。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 27 日～31 日：ケニア、モンバサ

第 10 回 ISK アフリカ地域会議

この会議では、ケニアおよび世界中の政府、民間企業、開発パートナー、学界、政策立案者からのヤング・サーベイヤーズや専門家が一堂に会し、土地および建築分野における地域および国際的な開発への貢献を強化する一環として、ネットワークの構築、アイデアの交換、ベストプラクティスの共有を行います。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 11 月 3 日～5 日：ブラジル、フロリアノポリス

FIG 第 7 分科会年次総会および FIG 合同土地管理会議

ONU-Habitat Brasil Social Tenure Domain Model (STDM) 並びに第 13 回国際 FIG ワークショップ「LADM および 3D-LA」及び第 8 分科会年次総会と併せて開催されます。いずれも、サンタカタリーナ連邦大学 (UFSC) が主催します。

[論文要旨の投稿および詳細情報](#)

[英語版チラシ](#)

その他のイベント：[イベントページ](#)をチェック

日程をお忘れなく

FIG 大会 2026、南アフリカ、ケープタウン：2026 年 5 月 24 日～29 日 - www.fig.net/fig2026

FIG 作業週間 2027、ノルウェー、スタヴァンゲル：2027 年 5 月 23 日～27 日 - www.fig.net/fig2027

FIG 作業週間 2028、フランス、パリ - FIG 150 周年を祝う：2028 年 6 月 24 日～28 日

以上、よろしくお願いいたします。

国際測量者連盟 局長

ルイーズ・フリス＝ハンセン